

省エネ出張診断・相談報告書(宇部市立図書館)

日 時 平成 23 年 12 月 16 日(金)～18 日(日)10:00～16:00
場 所 宇部市立図書館1F 展示室
天 候 晴れ時々曇り(16～18 日)
担 当 者 松井民男 春木英治
実施内容 宇部市立図書館来場者を対象に、省エネ診断・相談窓口を開設した。

■省エネ診断、相談

- ・全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)が公開している「家庭ですぐ出来る節電 21」の中から19個の診断項目を引用し、モニター画面に表示しながら回答を聞き取り、パソコンに入力、処理後、診断結果をプリントアウトして認定賞を手渡した。
- ・診断は項目毎に、「できている」:3点、「少しできている」:2点、「あまりできていない」:1点、「できていない」:0点の4段階で評価、総得点数で診断した。
- ・診断結果は各項目の消費電力削減率により、**金賞**(85%以上)、**銀賞**(70%～84.9%)、**銅賞**(50%～69.9%)、**努力しよう賞**(49.9%以下)として認定賞を発行した。
- ・認定賞を手渡す際に、点数の低い項目について改善点等のアドバイスを行った。
- ・東日本大震災の被災地を応援するために、政府広報HPにならって、「応援アクション」として、カードに「〇〇で応援しよう」と記入してもらい、パネルに貼付していった。
- ・診断者数:3日間合計日48人(16日;12人、17日;20人、18日;16人)
- ・相談又は質問数:5件
- ・復興アクション協力者数:38人

■省エネ診断・相談窓口の様子



展示室入り口



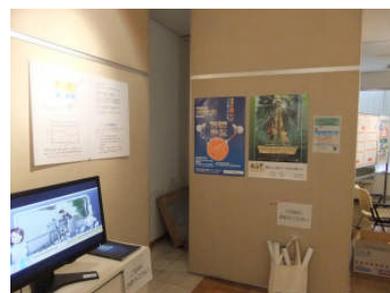
相談・診断ブース



展示物



展示物



展示物



復興アクション

■診断結果

金賞:31人 銀賞:9人 銅賞:7人 努力しよう賞:1人

チェック内容と回答数:受診者数 48 人

No.	質問内容	人数						
		10	20	30	40	48		
1	暖房の温度設定を控えめ(20℃)にする	25		19		4		
2	こたつやホットカーペットなどの部分暖房を活用する	43					3	2
3	暖房時に、窓に空気層のある断熱シートを貼る	20	8	15		5		
4	暖房時にカーテンを閉める	46					2	
5	エアコンのフィルターを掃除する	33			6	9		
6	暖房の使用時間を可能な限り短くする(就寝前に1時間消すなど)	44					2	1
7	暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする	45					1	2
8	暖房時に家族がいっしょの部屋で過ごす	31		11		2	4	
9	照明を使う時間を可能な限り短くする	45					2	1
10	テレビの画面を明るすぎないように調整する	44					3	1
11	電気ポットの保温をやめる	35			7	5		
12	炊飯ジャーの保温をやめる	39				7		2
13	冷蔵庫を壁から適切な距離を離す	38				6	4	
14	冷蔵庫の温度設定を強から中にする	38				8		1
15	お風呂の自動保温を止める	44					3	1
16	衣類乾燥機や洗濯機の乾燥機能を使わない	45					2	1
17	保温便座の温度設定を下げる	44					3	1
18	使わないときには便座のふたを閉める	44					2	2
19	使用していない電気機器はコンセントから抜き、待機電力を減らす	28		9		8		3

■考察・感想

- ・ 寒い日が続いたため暖房の設定温度を21~23℃としている人が多かった。室内で1枚多く羽織るなどウォーム・ビズで設定温度を下げることをアドバイスした。
- ・ 窓の断熱に注目している人が少なかったので、室内の熱の約50%が窓から逃げてゆくことを伝え、断熱シートやペアガラスが有効であり、暖房時はカーテンを閉めるようアドバイスした。
- ・ 全体的に節電が生活スタイルになっている方が多く、それぞれのチェック項目も日常的に取り組んでいる様だった。
- ・ 復興アクションにはほとんどの人が快く協力してくださった。

以上